



## 友だちの作品が新聞に載りました！特集号（3）

恒富小の子どもたちの作品が最近たくさん新聞に掲載されましたので、19号も特集号として紹介します。

「わたしはおねえさん」を読んで  
二年 わたなべ 理し

ぼくは、「わたしはおねえさん」を読んで、「かりんちゃんがかいたぐちゃぐちゃののを見ていました。」というところが心にのこりました。

なぜかという、ぼくにもおなじようなことがあったからです。ぼくが、ていねいにつくったペーパークラフトを妹がぐちゃぐちゃにしてしまったのです。そのときぼくは、少しおこって、

「だめってばあ。」

と言いました。なぜなら、これは二回目だったからです。一回目はゆるしてあげたけど、一回目だったので、ほんの少しはらがたつたのです。

妹が早く大きくなって、いっしょにペーパークラフトをつくれるようになると思います。



【令和4年2月16日夕刊デイリー】

残り五十日

六年 進藤 妃奈乃

小学校生活が、あと五十日になりました。朝の時間に先生が、「もう三学期もあと五十日しかないですね。」とみんなに話していました。それを聞いて卒業まで意外に早いんだなあと思いました。冬休みもあり、学校に行っている時間が」とてもみじかく感じました。これまでをふり返ってみると、私は六年生になって感じたことが、たくさんありました。

毎日学校をそうじしてくれていたのは、六年生でした。委員会などをまとめてくれていたのも、六年生でした。だけど、私はそんなことを毎日考えているわけでは、ありません。だからこの残りの五十日は、しっかり中学生に向けて学んでいこうと思えました。六年生らしい行動を考えながらがんばっていききたいと思います。



【令和4年2月16日夕刊デイリー】

ロッククライミング体験

六年 田中 菜月

「本当にここ登るの?。」  
先日、比叡山でロッククライミング体験をしました。私は、ロッククライミングをすることが初めてなので、とてもワクワクしていました。

バスに乗って山に着くと、目の前に見えたのは大きな岩でした。ワクワクからきょうふに変わったのが自分でも分かるくらいこわかったです。周りの子がすいすいと登っているのを見て、実はそんなにこわくないんじゃないかと思つてよゆうでいきましたが、いざ私の番になるときんちようしてきました。落ちたら死ぬのではないかと、ビクビクしながらやつと頂上に着きました。安心するの束の間。いちばんこわいと言われていた下山です。ロープに身をゆだねると言われてもこわいので、ゆっくりとあせらずおりました。どこもけがをしないでよかったですと安心しました。他にもキャンプで使えるロープの基本の結び方を教えてもらいました。

登れたことうれしさや展望台から見た景色など、やはり延岡の自然が素晴らしいなと改めて知りました。



【令和4年2月16日夕刊デイリー】

卒業式に満開の笑顔の花を咲かせたい

六年 北ノ菌 叶真

運動会、ロッククライミング体験、修学旅行、持久走大会、スポーツフェスタなど、二学期を振り返ってみると、私たち六年生は、様々な行事を経験しました。

そんな中で、ぼくが二学期、特にがんばったことが二つあります。その二つについて紹介します。

一つ目は、放送委員会の活動です。委員会活動は、もちろん一学期もがんばりましたが、二学期には新しいことに挑戦しました。それは、五年生への「むかばき宿泊学習のインタビュー」や「もしも作文のコーナー」の取組です。インタビューの際は、五年生にしっかりと話を聞き込みして、放送しました。もしも作文のコーナーは、全校のみんなに募集して、間違わないように放送しました。三学期も継続してがんばりたいです。

二つ目は、朝のボランティア活動です。ボランティア活動は、一学期からずっと取り組んでいますが、二学期は落ち葉が多かったり、行事の準備が忙しかったりしたので大変でした。それでも、毎朝、六年生みんなを取り組むことができました。

もうすぐ私たち六年生は、中学生になります。中学生に進学すると、勉強の内容やクラスメイトも変わります。ぼくは、少し不安ですが、楽しみです。中学校では、次の二つのことをがんばりたいです。

一つ目は、部活動です。中学校から部活動が始まりますが、ぼくは吹奏楽部に入ろうと思っています。時間を守って、あいさつを大切に

して、部活動に取り組みたいです。二つ目は、授業にしっかりと取り組みたいです。授業の内容も難しくなっていくので、先生の話もしっかりと聞いて、授業に取り組みたいです。

ぼくたち六年生は、小学校生活が残りわずかとなりました。残りの日々も、今までのようにみんなで協力して、全力で取り組み、卒業式に笑顔の花を咲かせたいです。

【令和4年2月17日夕刊デイリー】



習字の練習

四年 吉田 有希

今日習字の練習をしました。なぜかというとお母さんが習字がしたいと言ったからです。まず習字道具がなかったのので買いに行きました。

初めに横線たて線の練習をしました。その次に左はらい右はらいの練習をしました。次に学校で習った「大地」をかきました。自分の名前も練習しました。

お母さんが

「左はらいと右はらいは、お母さんより上手だね。」  
と言ってくれました。うれしかったです。

毎週土曜日か日曜日に練習をして習字が上手になれるようにがんばります。

【令和4年2月18日夕刊デイリー】



しっかりと走ったじきゆう走  
四年 前田 恵汰

ぼくがじきゆう走でがんばったことは、二つあります。一つ目は、ペースよく走れたことです。息がはあはあとなったけれど、速く走れてよかったです。じきゆう走はとくいだけ少しきつかったです。

二つ目は歩かず走りきったことです。走っていると中にこけたけれど、あきらめませんでした。

四位になりました。本当は三位をねらっていたのでくやしかったです。あと少し本気で走ればぬかせるきよりだったけれどきつかったです。

【令和4年2月18日夕刊デイリー】

